

<教育目標> 「主体的に活動し、健康な心と体で生きる力をもった幼児の育成」

<研究主題> 「ひと・もの・自然 みんな大好き みんな大切」

～自然や友達、色々な人やものとのかかわりを通して、健康な心と体を育む～

<平成21年度の教育の重点>

実践内容と成果

- 1 「泥んこ太陽は友達」～自然体験活動の充実推進～ 主体的に遊ぶ力を育て遊びを学びにつなげる
 - ・米や野菜の栽培活動で成長の感動を保護者と共有し、食に対する関心が向上し、偏食の解消にも役立った。
 - ・園外活動「森の幼稚園」を積極的に行い好奇心や探究心、長時間歩く持久力も向上した。
 - ・園庭、山の運動場での遊びを奨励し運動遊びを活発に進めたことで多くの幼児に土踏まずの形成が見られた。
 - ・直接体験や自然体験を通して、疑問を持ったり試したりすることで知的好奇心の芽生えが、主体的に環境に関わりをもつことで、遊びに広がりが見られるようになった。
 - ・基本的生活習慣の確立に向け、体を使った遊びで望ましい生活サイクルの確立を目指した。
- 2 「地球はみんなのたからもの」～環境教育の芽生えの心の育成～もの・人・自然との関わりを通し思いやりを育てる
 - ・飼育栽培活動の充実でアイガモの孵化や種からの栽培を体験し、命を大切に思う心が育った。
 - ・異年齢交流保育を推進充実させたことで、いたわりや憧れ、尊敬する気持ちが育ってきた。
 - ・体験活動の充実（・浄水場、クリーンセンター見学・「親子クリーンデー（通園路ゴミ拾い）」の実施・アルミ缶、エコキャップ収集・ゴーヤ緑のカーテン等）が物を大切にする事に繋がり、環境意識として定着してきた。
- 3 「言葉で握手・育てよう言葉の力」～言語力向上の取り組み推進～しっかり聞き自分の思いを言葉で表現する力育成
 - ・毎月、合言葉を決めて、家庭と連携し挨拶を奨励したことで挨拶の習慣が身につきつつあり、思いを言葉で表現することでも成果が見られつつある。
 - ・目と目を合わせる事を意識させたことにより、話を聞く態度の向上につながった。
- 4 「親も子ども育ちあう幼稚園」～保護者地域から愛され、信頼される幼稚園～
 - ・月1回程度幼稚園開放、毎月の「園長とお喋り会」の実施で保護者同士の交流や子育て相談の場となった。
 - ・親子で体験活動の場を提供したことで、親子の絆作りや家庭の教育力向上につながった。



「山の運動場で身体作り」
（PTAおやじの会作成遊具）



「田んぼで泥んこ遊び」心も
体も開放し伸び伸び生き生き



「遊びが発展する環境の工夫」
協力し、ぶつかり合いながら



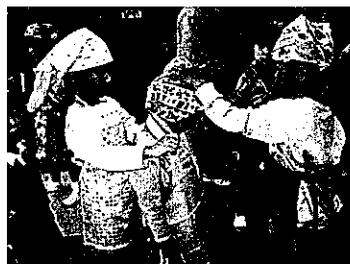
「親子でそば栽培」
種蒔き・収穫・そば打ち



「飼育当番」
クジャク小屋の掃除



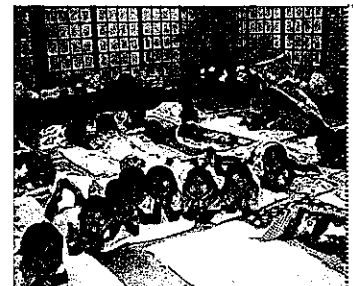
「干柿作りにチャレンジ」
干大根・モギ団子等食文化体験



「クッキングの身支度」
異年齢で助け合って



「クリーンセンター見学」



「お泊まり保育」天女の里
自立への第一歩

「どきどきわくわくきらっ! ~ひとりひとりが輝いて~」

京丹後市立網野幼稚園

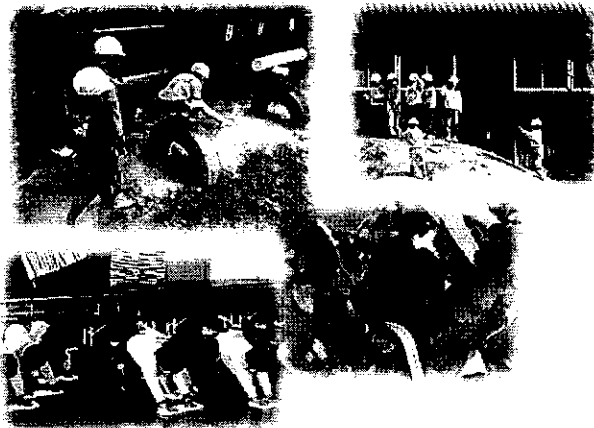
◎遊びを通した総合的な指導と多様な体験を基本に、幼児の豊かな人間性の育成に努める。

(1) 体を使って遊ぶことが楽しいと感じられ、自らが主体的に遊びに関わる。

- ・ キッズサッカー ・ 朝マラソンや体操 ・ 戸外体育遊びコーナー
- ・ リズム運動(さくらさくらんぼ) など。

幼稚園の中には楽しく運動できるものがいっぱいある。
園庭の築山、木登り、タイヤ跳び。雑巾がけも上手でしょ。

大好きなサッカー。
ボールをしっかり
追いかけるんだよ!



なわとび、側転、竹馬、一生懸命練習する
とできるようになった。うれしいな!!

(2) 絵本やお話に触れ、「聴く」ことに慣れるとともに話し合いを繰り返す、自分の思いや考えを言葉で表現する。

- ・ 保護者や図書館の読み聞かせボランティアも含め、沢山の絵本、人の声に触れる。
- ・ 遊びや役割等の話し合い、お休み調べなどでみんなの中で話す経験をしたり、生活の中で必要なことばのやりとりの指導を繰り返す。
- ・ 活動の度に話し合ったり、家庭での様子や友達関係等、子ども達の話をも十分に聞く機会をもつ。
- ・ 発表会で一年の経験などを自分の言葉で発表する。



(3) 園内外の様々な人と触れ合い、相手を尊重し労り、協同する中で自らも参加する。

- ・ なかよしデーで意図的にクラス・異年齢交流をする。
- ・ 縦割りのグループで活動する。
- ・ 園外の同年齢の友達や高齢者、文化的な社会人講師の指導を受ける。



*お茶会では、美味しいお菓子が食べられるよ。
「お先に」って言うんだよ。

*丹後園に行くと、デイサービスのお爺ちゃんやお婆ちゃんに劇をして見せてあげたよ。



*高齢者大学のお爺ちゃんお婆ちゃんと遊んだり、隣のお爺ちゃんには、えんどうの豆まきのやり方を教わりました。

教育目標

- ・生き生きと遊び心豊かでたくましい子の育成

研究の重点

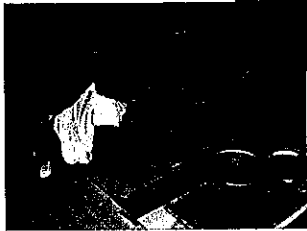
- 1、異年齢の交流で、人と人とのつながり等、連携を通していたわりや優しさ、思いやりの心を育む心豊かな体験をする。
- 2、一体化施設の活用、長所の探求。

テーマ “つなぐれ広げれみんな笑顔”

当園は豊栄保育所と間人保育所の統合にあわせて、幼稚園も新設されることとなり、平成21年度、京丹後市で初の幼保一体化施設として新園舎でスタートとした。当園の特徴は、幼保一体化施設の中で幼稚園教育を行うことにより、上記の重点研究を持ち日常に年齢の小さい保育所児との交流があるという特徴を生かした取り組みとして、異年齢合同散歩、遊びの交流、行事の中で交流、食育を通じた交流や言葉を通しての交流など、豊かなかかわりを持つことで、子どもたちに責任感と思いやり、助け合いなどの姿も見られた。また、保育者間での保育内容の研修や合同活動等により一体化施設としての長所の探求を行った。

異年齢交流

- ・着替えのお手伝いや散歩・製作など
- “どんなふうに言ったら聞いてくれるかな？”
- 交流を通して言葉の使い方やかかわり方を学びました。



クッキング（よもぎ団子）

- ・まず、地域の方にきれいなよもぎのある場所を散歩の時に聞きました。異年齢交流での散歩でよもぎ摘みを行い、良い悪いの選り分けをしてだんご作りをしました。目の前で湯がいて色の変化や形など学び、美味しく頂きました。

夏野菜の栽培

- ・地域の方に野菜の苗を頂いたり、自分達の作りたい野菜の苗を購入し、土づくりから行いました。虫がついたら食酢をスプレーでかけ退治！
- りっぱな野菜ができました。給食に使ってもらい、小さい組にも食べてもらいました。
- 「今日は、僕たちの作った野菜が給食のサラダに入っています。」「はい ありがとう」



親子野菜作り

- ・地域の農家の方に指導して頂き、親子で野菜作りを学びました。
- 小さな種から大きな大根ができました。中学校の給食にも使ってもらいました。「私、ブロッコリー嫌い」と言いながら「ここでできたブロッコリーは美味しいで食べれるで」と言ってくれました。



絵本の読み聞かせ

- ・先生やお母さん・ボランティアの方など、たくさんの人に読み聞かせに来て頂きました。
- お母さん達は、「緊張した」と言いながらも子ども達が真剣な表情で見てくれたことに感動！子ども達は、絵本が大好きに！お母さん達は、読み聞かせが大好きになりました。
- 短い時間ですが、集中して聞く力が育ってきました。

